



熊本銀行

希少性と有用性の高い化石サンゴ。
エコロジカルな天然素材で
多分野のニーズに応える。

コーラルインターナショナル
株式会社

代表取締役会長

やまかわ ちようげん
山川 朝源 氏

代表取締役社長

おおしろ あやこ
大城 綾子 氏

取引店/熊本銀行 健軍支店

■会社概要

創業:1973年/設立:1977年/所在地:熊本県上益城郡甲佐町(九州支社)、沖縄県八重山郡与那国町(本社)/資本金:4,500万円/従業員:29名/事業内容:総合ミネラル化石サンゴ関連商品(食品・ろ過材・飼料・肥料・壁材)の製造および採掘事業/事業拠点:本社、本店(沖縄県石垣市)、那覇支社、九州支社、東京営業所

会社ホームページはこちらどうぞ!



工場前(左から大城社長、山川会長、野村頭取)



山川会長

化石サンゴの成分研究で 良質なミネラルが 含まれていることが判明

検査機関に分析を依頼すると、カルシウム

田んぼに流れていました。しかもその付近の稲の生育がいい、サンゴの中の何かが、稲の発育に影響を与えているのではないかと。建設資材として使用できなくとも、与那国島のサンゴ特有の活用法があるはず。そこから、琉球大学、北里大学、大阪大学、京都大学、酪農学園大学、日本分析センター等に協力してもらい、サンゴの研究に長年を費やしてきました。

海運および陸運事業を経て 鉱業権を取得

日本最西端の島・与那国島の化石サンゴを使用した商材を取り扱う当社の創業は1973年。良質なミネラル70余種類を含む化石サンゴを原料にした健康食品、水質改善用ろ過材、家畜飼料、肥料を国内外に販売しています。創業者で現会長の私は、高校を卒業後、沖縄県公務員資格を取得して多良間島村役場で勤めていました。その後石垣島に移住、地元海運会社に10年勤め、仕事で得た経験と人脈をもとに独立し、一般貨物運送会社を設立しました。

その頃の運送会社ではコンテナも使われておらず、公共以外の荷物には保険がかけられないのが一般的だったため、天災による水濡れ、破損が発生するとすべての責任を負う事態となっていました。

そこで私は、生鮮品のように腐ってしまうことがない商品を取り扱う事業への転換を考え、友人に運送会社を譲り、建設資材となる石灰岩の鉱山採掘事業への参入を決めました。資格を取得して鉱業権を得るための申請

をおこない、1977年に有限会社山川商會を新たに設立。さらに、事業展開の関係で乗り込んだ与那国島が、事業経営の大きな転機となりました。

稲の生育ぶりが教えてくれた 与那国島の化石サンゴの可能性

与那国島では、まず鉱山を確保して鉱業権を所有するために、地元の有志への交渉を始めました。「単なる金儲けで与那国島へ入ったわけではなく、島のためになることをしたい」という熱意をもって率直な気持ちを伝え続けた結果、ようやく与那国島での第一歩を踏み出すことができました。

ところが、いざ採掘を始めると、石垣島の石灰岩にくらべて比重が小さく、圧縮強度が弱いことがわかったのです。見た目も石灰岩というより、サンゴの化石そのままの状態でした。これでは建設資材としては使えない、まったく予想外の展開でした。

そんな中、雨の中を歩いていた時、ある光景が目に見え、歩きました。降った雨が道路にしみこみ、基礎材に使用したサンゴが溶け、

を始め、マグネシウム、ケイ素、鉄、リン、ナトリウム、カリウム、マンガン、亜鉛、銅等70余種類ものミネラルを含んでいることがわかりました。1989年に与那国島の化石サンゴに出会い、商品開発を始めてから12年の歳月が経過した時のことです。

様々な検査の結果、植物育成に必要なミネラルを豊富に含むと同時に多孔質による保水力、保肥力、通気性で循環型の有機的な土壌に転換する性質があることが研究で判明しました。

さらに、重金属イオン等有害物質吸着や土壌pHを矯正する役割も果たすことがわかり、特有の性質を活かして水質改善ろ過材、家畜飼料、肥料やハウスタスト・シックハウス症候群対策用の壁材としても商品化されています。化学的に手を加えない天然成分100%という特色から、健康食品、化粧品にも用いられています。

またこの頃、NHKの番組でオーストラリア沿岸の世界最大のサンゴ礁であるグレートバリアリーフの特集が取り上げられていました。サンゴ礁を中心に多くの生命が誕生、命の営みのリレーが育まれており、生態系に深く



良質なミネラルを含んだ
与那国島産の
化石サンゴ商品を
提供します!

1.対談風景/2.3.無菌作業室を見学/4.不純物を取り除いた化石サンゴの充填作業/5.海外へ輸出する商品を保管する倉庫/6.7.倉庫内には大量の化石サンゴが保管されている/8.与那国島産の化石サンゴ/9.化石サンゴを使用した商品はホームページで購入可能/10.「FSSC22000」、「ISO22000」の登録証/11.企業メッセージ





大城社長

さらなる販路拡大と
地域貢献に向けて
工場を熊本へ

2017年には販路拡大のため、現社長の

恩返しに繋げたいという想いからです。
与那国島原産化石サンゴのブランディング
に取り組んできた結果、現在はモンゴル、ロシ
ア、リトアニアに自社商品を輸出、スロベニア、
インド、バングラデシュ、中国、ベトナム他数カ
国にサプリメントパウダーの原料等を輸出し
ており、世界各国のニーズに応えながら与那
国島原産化石サンゴを提供しています。

私・大城の出身地である熊本県上益城郡甲佐
町に工場を新設しました。熊本県庁で熊本県
企業立地課と甲佐町役場、コーラルインター
ナショナルの三者にて、熊本工場の新設に伴う
調印式を執りおこなっています。
食品製造もおこなう熊本工場では、無菌作
業室も完備しており、食品安全システム認証
の「FSSC22000」、原料の受け入れか
ら最終製品の出荷に至るまでの全工程におい
て適正な製造管理と品質管理が求められる
「原材料GMP」、衛生管理の国際的な手法と
して義務化されている「HACCP」を取得し
て、お客様に安全な商品を提供できるように、
品質管理に尽力しています。
「天の利、地の利、人の利に。熟成を心がけ、
頑張っていれば、必ず、結果が出てくる。」との
言葉を信じて、与那国島原産化石サンゴの可
能性を追い続けた結果、世界に通用する商材
を生み出すことができました。
今後は、アジアの発展途上地域における水
質改善など、当社へ寄せられる期待にお応え
しながら、広く社会に貢献できる事業活動を
目指してまいります。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 野村 俊巳

海運および陸運業の経験をもとに鉱山開発に進出された結果、多分野で
有用とされる成分をもつ与那国島の化石サンゴの研究に長年にわたって取り
組まれ、世に必要とされる商品を開発してこられました。

また、原材料を産出する与那国島、商品の製造拠点である熊本県上益城
郡甲佐地区の地域活性化にも継続的に寄与されています。SDGsの観点
からも、添加物や化合物のない天然素材のプロダクツを市場に供給する独自の
事業に、引き続き注力されることを心から願っております。



前列左3人目から大城社長、山川会長、野村頭取、高野支店長、坂口副支店長(熊本銀行)

かかわるサンゴを見て良質なミネラルが含ま
れているという自信を深めました。
アメリカの研究結果から
海外への需要が拡大

1999年8月にアメリカのワールドライ
フリサーチ研究所(World Life Research
Institute)の所長であったブルース・W・ハルス
テッド医学博士の著書で与那国島産の化石サ
ンゴに含まれる成分が取り上げられたことで、
海外からの需要が高まりました。

海外との取引が活発化した2006年に
「コーラルインターナショナル株式会社」へと
社名を変更し、グローバルに向けた事業の展
開を進めています。

また、酪農学園大学の小岩政照教授(こいわまさてる)の協力
で、2009年4月にはマイコトキシン、カビ毒
吸着による特許を取得。2010年10月には
乳熱予防の特許を取得しました。

豊富なミネラルを含む与那国島特有の化
石サンゴを差別化するために名称を「与那国
島原産化石サンゴ」に変更しています。これは
与那国島の資源の価値を高め、与那国島への